

住民主体のデジタル化推進も (たつの市菅田町下沖)



シルバー世代の 新たな社交場と 近所プラットフォーム

- ・ 孤立や困窮が長期化することを懸念し、新たな近所つながりの作業を創出。
- ・ パタン・ランゲージによる「**老い**と**対話**×**デジタル化**」研究（大阪大学と共創）。
- ・ シルバー世代のデジタル化のニーズは「**困り感**」よりも「**生活の広がり**」。
- ・ 対面×デジタルの**併用**が、疎遠や孤立を防ぎ、近所の**対話**を**促進**する。

2022/4/3 05:30 神戸新聞NEXT

高齢者もハマる「ユーチューブ」 ラップや性転換告白...多彩に発信 「生存確認にもなる」と笑いに

ツイート

シェアする 65

印刷



動画「じじつなぎ」の一場面

拡大



動画「じじつなぎ」の一場面

拡大



近年、若者がなりた職業の上位に入る「ユーチューバー」。今や憧れるのは子どもや若者だけではない。高齢者にも動画投稿サイト「ユーチューブ」が広がりつつある。65歳以上を対象に動画を募った大会には、ラップを披露したり、性転換した経験を明かしたり、幼なじみとの日常を描いたりしたほのぼの動画まで多様な作品が寄せられた。老いをタブー視しない生き生きした姿や豊富な経験、ユーモアある語り口が、いぶし銀の存在感を放つ。

(末永陽子)

高齢者向けコンテストを企画したのは「R65全国どきTuber」。ソーシャルサービス（東京）が生きがいづくりを目的に今年初めて開くと、300を超える応募があったという。

兵庫県たつの市の仲村俊彦さん（72）は、幼なじみ4人と自慢の一品を紹介し合うイベント「じじつなぎ」に出演。その様子を撮った動画が入賞を果たした。同市のNPO法人「いねいぶる」理事長の宮崎宏興さん（48）らの企画だ。

大阪大学×いねいぶる

・ 老いと対話×デジタル化研究

